

小規模企業景況調査(島根県企業) 簡易版

「平成25年度第3四半期：調査」

全国商工会連合会集計データによる分析

<調査概要>

調査対象：島根県下10商工会（出雲隠岐 6 石見 4） 企業（出雲隠岐 90 石見 60）
 調査時点：平成25年10月、11月、12月
 調査方法：対象企業へ個別協力要請、経営指導員による直接配布回収。企業に自記または聞き取り。

<産業全体>

・業況の推移

県下業況はD I 値（景気動向指数：前年同期比）は、製造業ではマイナス14.3（前期比プラス21.5ポイント）。建設業はマイナス9.5（同プラス8.7ポイント）、小売業ではマイナス20.5（同プラス5.1ポイント）、サービス業はマイナス16.0（同プラス7.2ポイント）で、全ての業種において改善した。来期の見通しでは、製造業と建設業については改善するが、小売業とサービス業については悪化するという予測である。

・売上高と採算性の推移

県下商工会地区全業種平均のD I は、売上でマイナス14.2（前期比プラス12.6ポイント）で、採算はマイナス26.2（同マイナス0.7ポイント）であった。売上の前期比では、製造業・小売業・サービス業については改善が見られたが、建設業では悪化であった。採算については製造業・サービス業で改善し、建設業・小売業では悪化であった。

<製造業>

製造業のD I は、売上でマイナス7.2（前期比プラス10.6ポイント）、採算はマイナス21.4（同プラス14.4ポイント）で改善しているが、資金繰りはマイナス35.7（同マイナス10.7ポイント）で悪化している。来期（平成26年1月～3月）の見通しは、全てにおいて改善すると予測している。経営上の問題は「生産設備の不足・老朽化」が最も高く、次いで「製品ニーズの変化」と「需要の停滞」が順位している。

<建設業>

建設業のD I は、売上でマイナス23.9（同マイナス1.1ポイント）、採算はマイナス28.6（同マイナス10.4ポイント）で悪化しているが、資金繰りは0.0（同0.0ポイント）であった。来期（平成26年1月～3月）の見通しは、全てにおいて改善すると予測している。経営上の問題は「材料価格の上昇」が最も高く、次いで「請負単価の低下、上昇難」と「官公需要の停滞」が順位している。

<小売業>

小売業のD I は、売上でマイナス23.2（前期比プラス9.4ポイント）で改善し、採算はマイナス31.8（同マイナス13.2ポイント）、資金繰りはマイナス27.9（同マイナス4.6ポイント）で悪化している。来期（平成26年1月～3月）の見通しは、全てにおいて悪化すると予測している。経営上の問題は「購買力の他地域への流出」が最も高く、次いで「需要の停滞」と「大型店・中型店の進出による競争の激化」が順位している。

<サービス業>

サービス業のD I は、売上でマイナス7.2（前期比プラス21.3ポイント）、採算でマイナス23.2（同プラス5.4ポイント）、資金繰りでマイナス19.7（同プラス3.5ポイント）であり、いずれも改善した。来期（平成26年1月～3月）の見通しは、全てにおいて悪化すると予測している。経営上の問題としては「需要の停滞」が最も高く、「利用者のニーズの変化」と「材料等の仕入単価の上昇」が順位している。

業種	産業全体		
	7～9月	10～12月	前期比
売上	▲ 26.8	▲ 14.2	12.6
採算	▲ 25.5	▲ 26.2	▲ 0.7
資金繰り	-	-	-
業況	-	-	-

業種	製造業			建設業			小売業		
	7～9月	10～12月	前期比	7～9月	10～12月	前期比	7～9月	10～12月	前期比
売上	▲ 17.8	▲ 7.2	10.6	▲ 22.8	▲ 23.9	▲ 1.1	▲ 32.6	▲ 23.2	9.4
採算	▲ 35.8	▲ 21.4	14.4	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 10.4	▲ 18.6	▲ 31.8	▲ 13.2
資金繰り	▲ 25.0	▲ 35.7	▲ 10.7	0.0	0.0	0.0	▲ 23.3	▲ 27.9	▲ 4.6
業況	▲ 35.8	▲ 14.3	21.5	▲ 18.2	▲ 9.5	8.7	▲ 25.6	▲ 20.5	5.1

業種	サービス業		
	7～9月	10～12月	前期比
売上	▲ 28.5	▲ 7.2	21.3
採算	▲ 28.6	▲ 23.2	5.4
資金繰り	▲ 23.2	▲ 19.7	3.5
業況	▲ 23.2	▲ 16.0	7.2

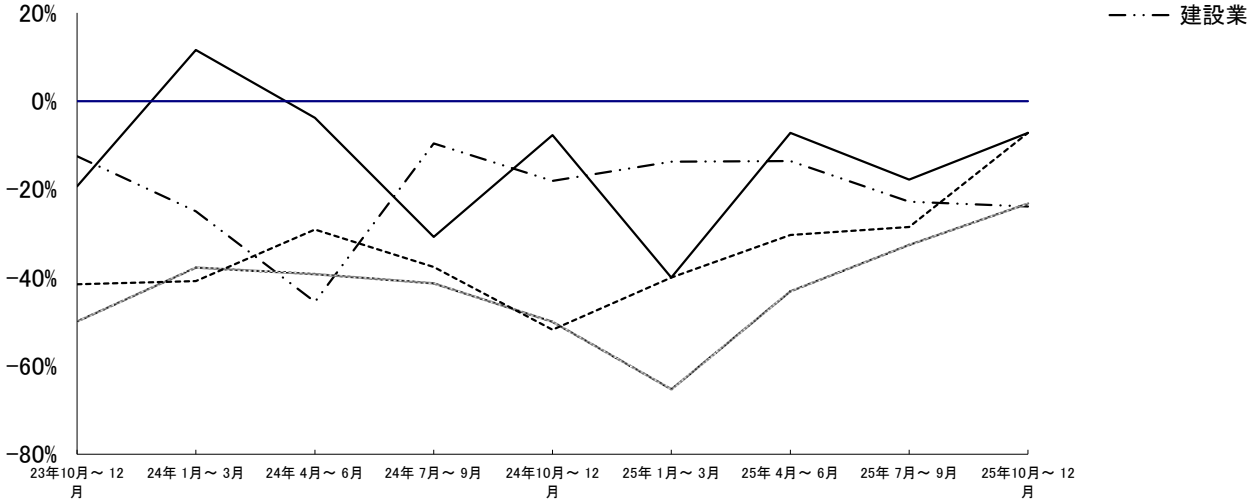
《来期見通し》

業種	製造業	建設業	小売業	サービス業
	H26/1～3月	H26/1～3月	H26/1～3月	H26/1～3月
売上	14.3	9.5	▲ 34.2	▲ 25.0
採算	▲ 10.7	▲ 15.0	▲ 34.1	▲ 39.3
資金繰り	▲ 17.8	9.5	▲ 31.8	▲ 25.0
業況	7.2	0.0	▲ 27.3	▲ 32.1

※[DI値]とは、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての「増加(上昇・好転・長期化)」企業割合と「減少(低下・悪化・短期化)」企業割合の差を示すものである。

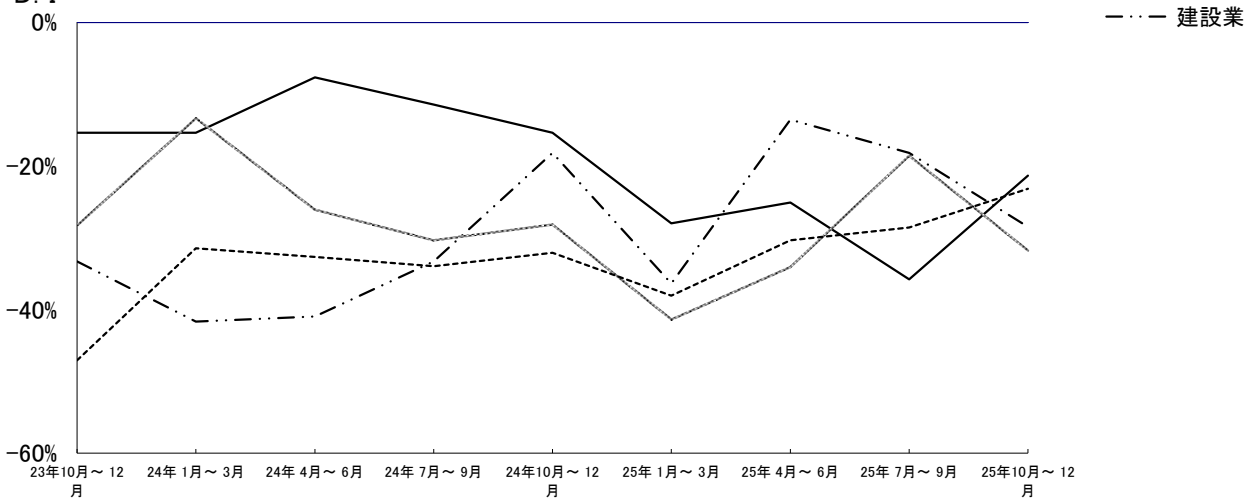
島根県 全産業

D. I 売上(完成工事)額の推移—前年同期比—



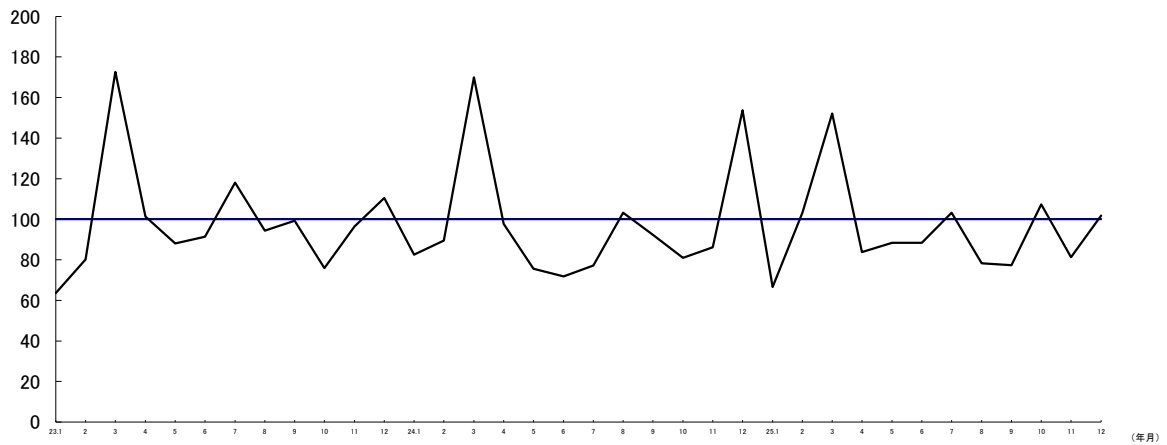
島根県 全産業

D. I 採算の推移—前年同期比—



島根県 全産業

売上額推移(月別指数)



54年7月~55年6月 = 100.0(8213.00 千円)